

- 市民活動サポートセンター（受託者：岸和田市社会福祉協議会）
 - ・機能が不十分
 - ・地区市民協議会への支援ができていない
 - ・社会福祉協議会の強み（従来からの地縁との関り）が活かせていない
- 市民活動団体の担い手不足、役員の高齢化



- 市民活動サポートセンターの機能強化に向けて
 - ・テーマ型、地縁型の市民活動団体の支援としてより良い方法や、足りていない支援は何か。
 - ・市民活動に関心があるが参加していない人に対して、どのようにアプローチ、仕掛け作りをすれば良いか。
 - ・市民活動に関心のない（知らない）人に、参加してもらうには、どのような方法が効果的か（すそ野の広げ方）。
 - ・地縁型、テーマ型、企業、行政を繋げて活動を広げたい。
 - ・市民活動団体が担い手不足を解決するために、サポセンでどのような支援を行えばいいか。
 - ・中間支援組織の役割とは何か。何に注力すべきか。
 - ・活動場所がないことを課題としている市民活動団体に対し、どのような支援をすればよいか（公民館の活用など）。
 - ・サポセン事業の受託候補者が少ない。他市状況や、好事例を知りたい。

- 市民活動団体の担い手不足、役員の高齢化
- 市民活動（テーマ型・地縁型）の認知不足
- 町会加入率の低下
- 町会と市民協議会の違いが分かりづらい。
- その他、協働の推進に向けた施策について

- 地域コミュニティへの支援について
 - ・地区市民協議会への伴走支援の方法について。
 - ・地区市民協議会に自ら抱える課題を考えてもらうには（見直しを検討してもらうには）どの様にアプローチすればよいか。
 - ※事務局長にアンケートを取ると課題が出てくるのに、支援を受けることに手を挙げてくれる市民協がない。
 - 1～2年で交代する市民協議会は、前年踏襲するだけで終わってしまっている
 - ・地区によって、熱心なところとそうでないところがある。熱心でない市民協へのアプローチ方法を知りたい。
 - ※熱心な市民協は、自ら運営等の見直しを進めている。
 - ・若い人の参加者を増やす方法、自分事として考えてもらうきっかけ作りの方法。
 - ・地域のリーダーの育成方法
- 町会の加入率向上
 - ・加入率向上を市が求め続けるのは適切なのか（市は、加入しない権利も擁護すべきでは。目指すのは地域コミュニティの活性化であって、加入率向上ではないのでは）。
 - ・加入率向上に向けて、市がすべきことは何か。
- その他、協働の推進に向けた施策について
 - ・職員の地域担当制について（他市の状況、課題、好事例、担当職員はどこまで関わるのか）。
 - ・職員の地域貢献活動について（関わる職員との連携）
 - ・庁内各課と市民活動団体との連携促進に向け、どう取り組めばよいか。

現状・生じている課題

- 市民活動（地縁型、テーマ型）の活動の認知不足
- 市民活動サポートセンターの認知不足
- 町会のＩＣＴ化



課題解決に向けた質問事項

- 市民活動の広報の仕方
 - サポセンとして支援できること
 - 市として支援できること
 - S N S 活用について（メリット、デメリット、費用）
- サポセンの認知度向上に必要なこと
- 町内回覧版のＩＣＴ化について